



市高を卒業して活躍している先輩たちに聞いてみました！

現在Jリーグ大宮アルディージャで活躍されている大山啓輔さん！高校時代の思い出、そして厳しいプロの道へ進んでからの数々の苦勞、これから目指す将来等を聞いてみました。

プロを目指すとしたのはいつ頃ですか？

小学6年生の頃に大宮アルディージャジュニアに入りました。その頃からこのエンブレムを背負っているのだというプロへの意識が高まり、高校を卒業したらプロになると決めていました。

お兄さんも市高出身ですが、大山さんが市高を選んだ理由は？

市高は外部でやっている選手にも理解があると聞いていたし、高卒でプロになるにあたり大学に行かなくても人としての知識・常識・教養をある程度もっておきたいと思っていたので、学業のレベルの高い市高を選びました。

高校ではユースでの遠征などがある中、学業との両立はどうされていましたか？

テスト・授業など学業はサッカーを言い訳にしておろそかにしたくはなかったので、遠征の時など、移動中に勉強していました。先生方も協力して下さり出られなかった授業の分など後日丁寧に教えていただきました。

ユースと学校生活の両立をした先輩として、現在頑張っている市高生に一言お願いします

勉強をおろそかにしない。やる事さえきちんとやっていれば大丈夫！

プロの生活の厳しいところ、幸せを感じる場所は？今後のなりたい姿は？

90分の試合中で結果を残さなければならず、頑張りが必ずしも評価に直結しない部分がプロの厳しさを感じます。加入当初は試合に出られず、自分の存在意義を考えてしまう時もありましたが、今年は試合に出られるようになり、その頃の自分を乗り越えることができたと思います。こういった結果がついてきたとき、幸せを感じます。今後目指すところは、チームで中心選手になれるように、そしてオリジナリティのある選手になれるように頑張りたいと思っています。

試合に出られず辛かった時はどう乗り越えましたか？

メンタルは弱いので自分の為だけに・・・と思っていたら折れている部分があったと思います。しかし自分がここで終わってしまったら、あとに続く子たち、今までお世話になった育成のコーチ、何ん自由なくサッカーをやらせてもらった家族に対して申し訳なく、この程度の逆境には負けるわけにはいかないと、トレーニングに励みました。



高校生活の思い出、また得たものは何ですか？

自分は大学での楽しい思い出が作れない分、市高で楽しい思い出を作りたいと強く思っていました。その思い通り、市高では文化祭、体育祭など多くの楽しい思い出を作ることが出来ました。高校で得たものは・・・「友人」。各々目標を持ち能力も高く、そのような友人と接することは、サッカーの枠を超えた知識を得ることが出来ました。プロになった今でも、自分から食事に誘って話を聞いたりしています。視野を広げたり、価値観を広げるためにもレベルの高い友人たちと話ができて嬉しいです。

高校生時代の印象的な事は何ですか？

自分がアルディージャのユースだということを特別扱いはされず、人間関係もスムーズでした。先生も友達も自分に自信があるのか、心が広いと思いました。

在校生に夢実現のアドバイスをお願いします

まずは自己分析をすることだと思います。そして色々な人のアドバイスを聞いて、そのうえで自分の考えと照らし合わせ自分の進む道を決めていってほしいと思います。



大山選手のサインです！



大山啓輔

Keisuke Oyama 20歳 平成25年度卒業

3年生の担任 野平先生
大宮アルディージャジュニア1期生
ポジション MF
Jリーガーの兄俊輔さんも16年度卒業生



試合で活躍する大山選手！

取材後記 大宮アルディージャ 優勝&昇格 おめでとうございます！

取材を通じて感じたのは、二人とも市高が楽しく大好きだったこと、格の高い友人仲間に恵まれたことでした。

志高く厳しいステージで活躍する先輩が誇らしく、心から応援したいと思いました。(担当高2)